

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

いけだ

No.167

いけだ市議会だより 令和2年(2020年)1月1日



五月山動物園にて

新年のごあいさつ	2
議長・副議長、各議員団	
委員会レポート	4
平成30年度 各会計決算審査	
おわびと訂正	6
やまばと	6





謹賀新年



議長
渡邊 千芳



副議長
荒木 眞澄



新年あけましておめでとございます。
市民の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年の9月に発生した台風15号は、記録的な暴風雨により千葉県を中心に大規模な停電など、甚大な被害をもたらしました。また、翌10月に発生した台風19号による記録的な大雨では、東日本各地の河川の氾濫や堤防の決壊が相次ぎました。改めて、被災されました皆様に関心をお見舞い申し上げます。

さて、本市では昨年4月に行われた統一地方選挙において、22名の市議会議員が市民の信託を受け選ばれました。また、前市長の辞職を受け、市長選挙も行われ新たな市長も誕生しました。このように議会だけでなく、執行部も新たな体制のもとで市政運営がスタートしましたが、行政を是々非々の立場で判断していく中で、執行部とも手を取り合いながら市政運営を行ってまいりたいと考えております。

また、10月には市制施行80周年を記念した記念式典が盛大にとり行われました。本市が他市に先駆けた施策を常に市政に取り入れ、行政執行が実施できますのも、ひとえに10万市民の皆様方の温かいご理解とご協力のたまものと感謝しております。

本市の財政状況につきましては、平成30年度一般会計決算において、18年連続の黒字決算となりましたが、平成27年度以来3年ぶりに財政調整基金の取り崩しを行うなど、依然として構造的に脆弱な財政体質となっております。また、今後も社会保障関係費の増加に加え、大規模事業の影響等により、多額の財政調整基金の取り崩しや市債の償還による財政の逼迫が予想され、依然として厳しい財政状況が続くものと見込まれています。

私も市議会といたしましても、常に市民の皆様方の立場に立って、魅力と活力あるまちづくりを目標に、全力を傾注していく所存であります。結びになりましたが、本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますよう祈念いたします。新年のご挨拶といたします。

新生クラブ議員団

健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年5月より新生クラブとして3人で活動をスタートいたしました。

本市と皆様の明るい未来のために職責を果たす所存です。なお一層のご支援・ご指導をお願い申し上げます。今年1年が皆様にとって実り多いことをご祈念申し上げます。

自民同友会議員団

あけましておめでとございます。
市民の皆様には輝かしい新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も昨年以上に市民ニーズや時代に即した施策、市民の立場に立った行政改革、災害に強いまち池田を目指して、初心を忘れず取り組んでまいります。なお一層のご支援・ご指導をいただきますよう心よりお願い申し上げます。



西垣 智 浜地慎一郎 細井 馨 小林 義典



下窄 明 坂上 昭栄 前田 敏

議員の年賀状・暑中見舞い・寄付行為は、法律で禁止されています。また、祝電・弔電についても、申し合わせにより自粛しています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



大阪維新の会池田議員団

新春のお慶びを申し上げます。
皆様のご健勝とご多幸を心より
祈念申し上げます。本年も市民
の皆様のお声を市政に反映すべく
日々精進してまいる所存です。よ
ろしくお願いたします。



瀧澤 智子



石田 隆史

日本共産党議員団

新春のお慶びを申し上げます。
市民の皆様にはつつがなく新年
をお迎えのことと存じます。
国が増税を進める中、市民の生
活を守る市政が求められます。誰
もが平和で幸せに暮らせるよう、
皆様の声を届け、その実現のため
に頑張ります。本年もよろしくお
願いたします。



小林 吉三



藤原美知子



山元 建

無所属の会議員団

新年あけましておめでとござ
います。市民の皆様方にとって、
実り多き年となりますよう心より
祈念いたします。本年もより一層
のご指導、ご鞭撻をよろしくお願
いたします。



三宅 正起



安黒 善雄

公明党議員団

新春のお喜びを申し上げます。
池田市公明党は本年も、対話を
基調に生活現場を訪問し、人々の
声に誠実に耳を傾けて、教育、防
災、環境に取り組んでまいります。
昨年末には、幼児教育・保育の
無償化について、現場の実態調査
を行い、次の展開を図りました。
本年も、真摯に頑張ります。



藤本 昌宏



荒木 眞澄



多田 隆一

青風会議員団

謹んで新年の
お慶びを申し上げます
市民の皆様にはいつに変わりに
なく、私ども青風会議員団を、理解
ご支援いただき感謝いたします。
昨年はご承知のとおり、統一地
方選挙で市長が交代する大きな変
化がありました。取り組む課題は
人口の減少、特に働き世代の減少、
高齢者の増加など日本が先頭を走
るためお手本はありませんが、全
世代に豊かで住みよい安心できる
暮らしを提供できるよう青風会一
丸となって頑張っております。
本年もよろしくお願いたします。



守屋 大道



中田 正紀



川西 二郎



渡邊 千芳



山田 正司



平成30年度各会計決算審査
 9月定例会で常任委員会に審査付託した平成30年度の各会計決算について、議会閉会中に各委員会を開催し、審査しました。
 12月3日の本会議で、各委員長が審査の結果報告を行い、それぞれ委員長報告通り認定しました。
 各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

総務委員会

10月29日
開催

今後の地域分権制度のあり方は

〈一般会計〉

問 本市の地域分権制度は、平成19年度の制度発足以来、各協議会からさまざまな特色ある事業が提案され、実施されてきた。

答 しかし、現在、地域分権制度の見直しを検討しているとのことだが、今後の地域分権制度のあり方について、見解を問う。

予算提案権を廃止し 共助の仕組みの強化を検討

問 本制度は、市長による任命や公選によらない方法で選出されたメンバーで組織された地域コミュニティ推進協議会が予算提案を行っており、一定、地域のコミュニティの推進には寄与しているものと評価するが、元来、未完成のままスタートした制度であり、問題があると考えている。

答 今後は、各協議会に付与している予算提案権を廃止するとともに、各協議会をより幅広いメンバーで構成された組織に再編し、各地域における防災や防犯などの中核組織として、共助の仕組みづくりを強化していきたいと考えている。

なお、予算提案権を廃止しても地域の要望をくみ上げ、市政に反映させる仕組みを構築するとともに、地域に根づいている事業については、引き続き、実施していきたいと考えている。

マイナンバーカード取得の メリットは

〈一般会計〉

問 社会保障・税番号制度推進費は、マイナンバーカードの交付事務に係る費用であるが、本制度の開始から間もなく4年が経過する中、現在の本市のマイナンバーカードの取得率は、約15%と普及が停滞している。

答 取得率が低迷する中、平成29年3月末には石橋、プラザの市民サービスコーナーが廃止されたが、現在でも多くの市民からサービスコーナーの復活を求める声を聞く。個人情報の漏洩などが危惧されるマイナンバーカードを取得するメリットについて問う。



証明書のコンビニ交付など 市民の利便性が向上

答 マイナンバーカードを取得するメリットは、本市においては、原則、午前6時30分から午後11時まで、コンビニで住民票の写しや印鑑登録証明書などが取得できるほか、国においては、令和3年からマイナンバーカードを健康保険証としても利用可能とするなど、今後さまざまな利便性の向上を図っていくと聞いている。

文教病院委員会

10月24日
開催

医業収支が良好な理由は

〈病院事業会計〉

問 本決算の医業収支が平成29年度に引き続き黒字となった理由及び今後の見通しについて問う。

患者数の増加や 診療単価の上昇が主な要因

答 医業収支が黒字となった理由は、今までの経費削減の取り組みに加えて、積極的に救急搬送患者を受け入れるとともに、かかりつけ医との連携強化を進めたことなどにより、患者数が増えたほか診療単価が上昇し、医業収益が増加

したためである。

また、平成30年度は、一般会計から1億4千万円の繰入金を追加補正されたこともあり、収支改善の大きな要因になっている。

今後、2年間維持している医療収支の黒字を保ちながら、最終的には当年度純損益での黒字化を目指すという。

道徳の教科化は検定教科書の内容の押しつけになるのでは

〈一般会計〉

問 道徳の教科化は、小学校では平成30年度から、中学校では令和元年度から実施している。

元来、道徳とは、個人の尊厳と人権を互いに尊重することを基礎に置いたものであると考えるが、教科化により、検定教科書の内容を子どもたちに押しつけることになるのではないかと危惧する。

本市の道徳教育の実施状況並びに子どもたちに対する評価方法について問う。



子どもたちの主体性に基づき価値観を高めていく

答 本市の道徳教育の実施状況については、子どもたちに対して教科書の内容を丸覚えさせるのではなく、子どもたちがみずから考え、議論し、互いに価値観を高めていく内容になっている。

また、子どもたちに対する評価方法は数字ではなく、一人ひとりの取り組みを文章で記載するように配慮している。

厚生委員会

10月11日
開催

保険料の収納率が向上した要因は

〈国民健康保険特別会計〉

問 平成30年度から国保運営が広域化され、市町村は大阪府が提示する標準保険料率に基づき算出した保険料を徴収し、事業費納付金として納付するという制度になったため、保険料の収納率の向上がより一層重要になったと考ええる。

本決算の収納率が前年度と比較して向上した理由並びに広域化に伴う本市の激変緩和措置の実施状況について問う。

実情に応じた納付相談など収納対策を丁寧に行った結果

答 収納率が向上した理由は、保険料徴収の担当職員を増員し、滞納者一人ひとりの実情に応じた納付相談など、収納対策に丁寧に取り組んだことが挙げられる。

また、激変緩和措置については、本市は大阪府の激変緩和措置を受けていないため、すでに標準保険料率と総額としては同額の保険料を賦課しているが、被保険者全体の保険料のバランスを考慮して、平等割額と所得割額との割合を組みかえて、低所得者層への負担を軽減している。



福祉に係る窓口業務委託のさらなる拡大は

〈一般会計〉

問 福祉医療に係る窓口業務を平成30年度から新たに委託しているが、具体的な委託業務内容及び事務の流れについて問う。

また、今後さらに福祉に係る窓口業務の委託を拡大していくのか。

現時点では検討していない

答 福祉医療に係る窓口業務については、平成30年6月より、医療証の申請及び再交付の手続、市内転居等に伴う受給資格の変更手続、他府県で受診した場合の償還申請手続等の事務を委託している。

事務の流れについては、例えば医療証の申請手続では、受託業者が申請内容の入力作業及び医療証の作成を行い、市職員が確認を行った後、受託業者から受給者に交付する流れとなっている。

また、窓口業務のさらなる委託については、新たな制度が創設されれば委託する可能性はあるが、現時点では考えていない。

土木消防委員会

10月8日
開催

今後の料金改定の予定は

《水道事業会計》

問 平成30年度の本会計決算は、純利益が約3億7600万円と引き続き好調である。

答 今回、平成29年度に策定した上下水道事業経営戦略の財政推計の純利益よりも決算額のほうが上回っているが、その理由を問う。

また、経営成績が好調な本会計における水道料金の改定に対する見解について問う。

令和4年度に経営審議会を開催し検討を行う

答 純利益における決算額が財政推計額を上回った理由は、〇径別納付金が見込みよりも多かったことや、減少を見込んでいた大口使用者の使用水量が想定よりも下がらなかったことに加え、支出において、不用額等が発生したことにより想定以上に純利益が増加したためである。

また、料金改定については、5年ごと開催する上下水道事業経営審議会において審議されるが、まずは、中長期的な財政運営に必要となる資金の確保策に取り組

だ上で、それでも、損益赤字や資金不足の発生が想定される場合には、料金改定の検討も必要になるものと考えている。

今後の指定ごみ袋制のあり方は

《一般会計》

問 家庭ごみの指定袋については、現在も無料配布をしている近隣自治体があると聞けが、今後の本市における家庭ごみの指定袋制のあり方について問う。

有料制を継続していく中で環境啓発にも努めたい

答 指摘のとおり、近隣の自治体の中で、ごみ袋の無料配布を実施している自治体があることは認識しており、市民負担を考慮し、本市も改めて、無料配布について検討したが、本市では有料化に伴い、ごみの排出量が抑制された実績がある。

したがって、本市では今後ごみ袋の有料制を継続していく中で、例えば、指定ごみ袋を束ねている紙帯にごみ処理にかかる膨大な費用を印刷するなど、市民に対し、環境啓発していくことが、ごみの排出量の削減につながり、ひいては、クリーンセンターの焼却炉の延命化やCO₂の削減に大きく寄与するものと考えている。

おわびと訂正

本紙11月1日号（No.166）の9月定例会の一般質問のページにおいて、一部掲載漏れがございましたので、おわびいたします。

なお、掲載内容は次のとおりです。

地域分権制度に対する方向性は （市民同友会）

問 本制度のそもそもの主旨は予算提案権の付与により地域住民が主体となる高度な住民自治を補完するものと認識している。しかしながら今後は地域コミュニティ推進協議委員会からの提案、要望を精査し予算化するとなっている。方向性は。

見直しに向けて 地域の皆さんと協議を重ねる

答 協議会からの提案は、制度上公平性に課題があると考えており、地域の皆さんと協議を重ね、任期中をめどに制度を見直したい。



やまばと

謹んで新年のご祝辞を申し上げます
昨年5月に元号が令和に改元され、初めての新年を迎えました。

皆様におかれましては、この喜ばしい年明けを晴れ晴れしい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、市民の皆様におかれましては、私ども、市議会に対しまして、「ご理解ご協力並びに多大なるご指導をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本年は、日本で、オリンピック・パラリンピックが開催されます。さらに、わがまち池田市もホストタウンとして認定され、本市も例年以上の盛り上がりを見せることと思います。

市政におきましても厳しい財政状況の中、市民の皆様が住んでよかった、これからもずっと住み続けたいと思っただけのように、中長期的な視野で議会としても取り組んでまいります。

結び、市議会たより編集特別委員会におきましては、議会の審議内容を市民の皆様によりわかりやすくお伝えできるように努めてまいりたいと思っております。引き続き「愛読いただきませう」よろしくお願い申し上げます。

市議会たより編集特別委員会

- | | |
|------|---------|
| 委員長 | 山元 建 |
| 副委員長 | 守屋 大道 |
| 委員 | 下 野 明 |
| 委員 | 藤 本 昌 宏 |
| 委員 | 西 垣 智 智 |
| 委員 | 瀧 澤 智 子 |
| 委員 | 三 宅 正 起 |